

赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン

「地域で孤立に気づき、つながり、見守る人材（つながりワーカー）養成研修」報告

今年度の、「赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」では、地域で孤立に気づき、つながり、見守る人材養成および実践活動助成を受けて、つながりワーカー養成研修を開催しました。

○令和6年6月10日（月）



対象者は、美馬市ふれあい福祉総合相談センターの相談員で、各地区の相談拠点で相談対応を行っているメンバー18名が参加しました。

受講者からは、「相手の話をしっかり聞く（傾聴）、ねぎらい、気遣いの大切さがわかった。」「挨拶、立ち話の大切さを再認識した。」など、つながる大切さについての感想が聞かれました。

○令和6年9月9日（月）



対象者は、5自治会連合で定期的に研修会や体操などを行っている地域住民の方々でした。

15名が参加し、研修動画のあと、グループワークでは活発な意見交換が行われました。

受講者からは、「地域の見守り活動で活かしたい。」「望ましい声かけ等がわかってよかった。」など実践に向けての声が聞かれました。

日常生活の中で変化に気づくことができる、また、気になる人とつながる、つなげる大切さ、見守る大切さを学ぶ貴重な研修となりました。

美馬市社会福祉協議会では、地域の福祉課題や地域生活課題を住民とともに解決に向けて取り組む、第4次地域福祉活動計画の策定に取り組んでおり、「つながりワーカー」の役割が地域には必要と考えています。

この研修は、協同募金へご寄付いただいた個人・企業等の皆様の善意によって実施することができました。改めて御礼申し上げます。